NANTAN

119だより

NANTAN FIRE DEPARTMENT 2019 No.20

▲照福こども園　社会見学

災害状況

令和元年
10月20日現在

- 火災…　21件
- 救急…　2,467件
- 救助…　43件

主な内容

特集　救急に関して
（ドクターヘリ・ドクターカー）… 2・3

◆ 養父市・朝来市一斉避難訓練
第48回全国消防救助技術大会
防火基準適合表示マーク「金」を交付 … 4

◆ 令和元年度防火ポスター入選発表 …… 5

◆ 消防写真館
消防白書・火災調査レポート …… 6・7

◆ お知らせ …… 8

住宅用火災警報器が大切な「命」「財産」を守ります！

- 全ての寝室（子ども部屋含む）と２階以上に寝室がある場合は階段にも必ず取付けましょう。
- 設置しておよそ10年が交換の目安です。

ドクターヘリ&ドクターカー特集

専門の医療機器を備え救急専門医と看護師を乗せ傷病者の元に向かうドクターヘリ。平成22年4月の運航開始から今年で10年目を迎えたこの事業について改めてご紹介します。

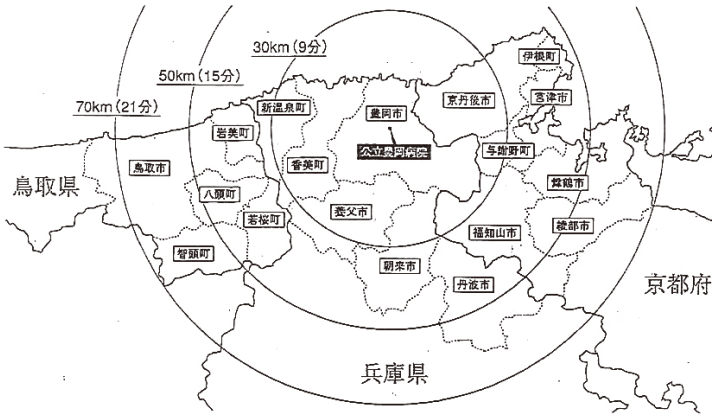
ドクターヘリの運航範囲は、原則として京都府、兵庫県及び鳥取県として、基地病院となる豊岡病院より半径50キロ圏内にかかる消防本部の管轄区域としています。(下図参照)また、ドクターヘリには操縦士(機長)1名、整備士1名、医師2名、看護師1名が搭乗しています。運航時間は午前8時30分から最大午後5時までで、霧や雪、強風などの悪天候以外は毎日運航しています。

ドクターヘリ要請は119番通報を受けた消防本部が、その通報内容があらかじめ決められているキーワード【注1】に該当すれば直ちにヘリを要請しますが、現場についた救急隊による傷病者の観察結果をもとに要請する場合もあります。また、ドクターヘリを要請すると同時に救急車の出動に加え、消防車がヘリ支援【注2】のために指定されたランデブーポイント【注3】に向け出動します。その後、着陸したヘリは救急車と合流して医師や看護師による処置が施されたあと、対応可能な病院へと搬送されます。

原則としてドクターヘリでの搬送先は基地病院である豊岡病院ですが、傷病者の状態によっては対応可能な近隣の医療機関に救急車で搬送する場合もあります。また、現場到着した救急隊が傷病者を観察後、救急隊のみで対応が可能であると判断したときは、ドクターヘリをキャンセルすることがあります。

ドクターカーは但馬内の3消防本部の管轄内を運行しています。専属のドライバーと医師1名が乗務し、ドクターヘリの運航時間外や悪天候で飛べない時、要請時にすでに他事案に出動中の時に出動します。救急隊と連絡を取りながらあらかじめ指定されたドッキングポイント【注4】で合流し、医師が救急車に乗り込み救命処置を施した後、そのまま救急車に同乗して医療機関まで搬送します。ドクターカーは平成29年から36

ドクターヘリ運航範囲



5日24時間体制となりました。

＊キーワードとは【注1】

・高所から墜落・転落した。
・人が急に倒れた。
・胸痛・背部痛がある。

など、早急な医療介入を必要とする約50項目の事柄のことで、通報内容に一つでも含まれていればドクターヘリを要請します。

＊ヘリ支援とは【注2】

ドクターヘリが安全に離着陸できるように地上で誘導を行います。着陸の際は、砂ぼこりが発生するため、あらかじめ散水したり、付近に飛散する恐れがある物品を移動したりします。また、状況に応じてランデブーポイントから医師、看護師を救急現場まで搬送します。

▲ドクターヘリ支援の様子

＊ランデブーポイントとは【注3】

管内の公園・校庭など92か所をドクターヘリの臨時着陸場として設定しています。

＊ドッキングポイントとは【注4】

幹線道路沿いの駐車場・空地など66か所をドクターカーとの合流地点として設定しています。

おわりに

ドクターヘリ・ドクターカーの要請件数は年々増え続けています。南但消防本部発足からの要請件数は表1のとおりで、今年は8月末現在で1，008件となっています。平成22年のヘリ就航当初はランデブーポイント上空に到達するその速さと、着陸に発するローターからの風圧に驚かされたものです。

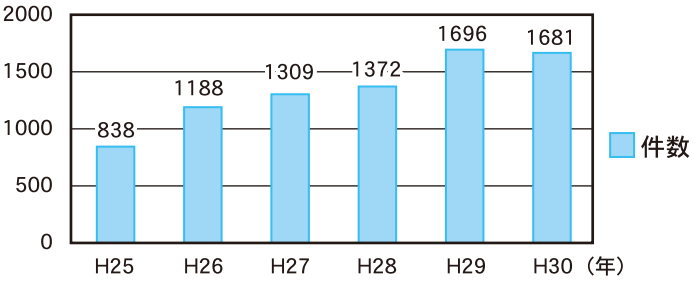
ヘリ要請の際は、ランデブーポイントとなる学校や、事業所等へ速やかに連絡を入れ、付近の住民の皆様へは出動している支援車の車載マイク等でヘリの飛来をお知らせする態勢をとっています。また、ヘリ要請の基準となるのは皆様からの119番通報です。突然、家族や知人が倒れたり、大きな事故に遭遇すれば誰しも気が動転しますが、落ち着いて出来るだけ詳しい情報をお願いします。

消防本部では、救命率の向上、病気やけがによる後遺症の軽減を目指し、ドクターヘリ・ドクターカーとの連携をさらに深めてまいりますので引き続き皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

▲砂塵防止の散水の様子

▲ドクターカーとドッキング

（表1）ドクターヘリ・ドクターカー要請件数



養父市・朝来市 一斉避難訓練

9月1日、養父市・朝来市で一斉避難訓練が行われました。

養父市では、午前10時、市内全域に「警戒レベル4避難勧告」が発令され、一斉避難訓練が始まりました。モデル区となった宿南区では、各地区ごとに安否確認を行った後、避難経路における問題点を把握・確認しながら、指定避難所である宿南小学校へ移動しました。同避難所では避難所開設訓練や毛布を用いて応急担架を作製し搬送する訓練等が行われました。

▲応急担架を作成し搬送する様子（宿南区）

朝来市では、「猛烈な台風の接近により、断続的に雨が降り続き、市内全域で土砂災害・河川の氾濫の危険性が高まり、市内全域に避難指示を発令」との想定で訓練が行われました。

▲消火訓練の様子（高瀬区）

上早田区では、朝来消防署員による、災害発生時の避難行動等についての講話や防災バッグの展示等が行われ、多くの方が耳を傾けておられました。また、その他の地区でも救急訓練や防災講話等が行われ多くの地区で自主的な取り組みが見られました。

いざ災害が起きた時のため、日頃からしっかり備えておきましょう。

第48回 全国消防救助技術大会

令和元年7月20日、兵庫県広域防災センターに於いて開催されました。第48回消防救助技術近畿地区指導会に4種目・救助隊員12名が出場しました。この訓練は安全確実性に併せて所要時間を競います。各種目兵庫県下1位もしくは、近畿地区で2位までの隊員が全国大会へ出場します。

本大会の基本泳法（水上）部門で31・35秒のタイムを記録し畠山翔太 消防副士長が全国大会への切符を掴みました。南但消防本部で初の水上種目の全国大会出場です。

畠山隊員は令和元年8月25日に岡山県岡山市での全国消防救助技術大会に基本泳法（水上）で近畿地区の代表として出場しました。全国の救助隊員が集まり、熱気あふれる中、高タイムで入賞しました。他都市の消防職の経歴を持って、南但消防本部に採用され、南但消防本部として初めて水上種目への挑戦を志し、見事全国大会で好成績を収めることができました。

▲手前：畠山副士長

山岳地帯を多く抱える南但地域ですが、山岳救助技術だけでなく、水難救助技術の向上をさらに図り、隊員の育成をしていきます。また、これからも当本部から全国大会出場隊員を育成し、市民の安全安心につなげてまいります。

防火基準適合表示マーク「金」を交付

令和元年8月19日（月）、養父市ハチ高原の「ホテルやまとよ」に対し、養父消防署管内では第1号となる『防火基準適合表示マーク（金）』を交付しました。当該施設は、平成28年8月に『適マーク（銀）』の交付を受け、その後も継続的に表示基準の適合状態を維持され、このたびの交付となりました。

「ホテルやまとよ」の代表取締役 角野昭男さんは、「日頃から火災予防や危険物事故防止に心掛けていますが、今回の金マーク交付を機に、より一層意識して取り組みます。そして、継続してお客様に安心を提供できるよう努めていきたいです」と、さらなる防火体制の向上へ決意を語られました。

▲ホテルやまとよ 角野さん（右）

令和元年度　ポスター入選発表

夏休み中に、養父市・朝来市内の小学校・中学校の児童・生徒から防火ポスターを募集したところ、８４２点（小学校３１７点、中学校５２５点）の応募がありました。

９月20日に行われた審査会で、最優秀賞２点、特別賞３点が選ばれ、また、次の皆さんが入選しました。

最優秀賞

【小学校の部】
小原（おはら）　岳士（がくと）
生野小学校６年

「僕は幼いころ、消防士さんに親切にしていただいたことがあり、僕の中では、消防士さんは人々を助けるヒーローのような存在です。そんな消防士さんと心を共にし、多くの人々に火の確認をし、安全な暮らしを守っていってほしいという願いを込めて描きました」

【中学校の部】
藤本（ふじもと）　ひかる
和田山中学校１年

「今の時代は、自動消火の物が多いです。花火をしたり、停電をしたときなどは、ろうそくを使うことがあります。ろうそくは一本ずつ消していきます。いいねの確認をろうそくに例えて作成しました。暗闇に照らされるろうそくの炎の感じを出すのに苦労しました」

特別賞

◆養父市消防団長賞
上垣　菜春
大屋中学校３年

◆朝来市消防団長賞
戸田　夏夢
梁瀬小学校４年

◆南但危険物安全協会長賞
松下　心音
八鹿青渓中学校２年

小学校の部

◆優秀賞……10名
福田晴里菜（高柳　１年）
大川　莉杏（生野　２年）
井出　虹那（糸井　３年）
大垣　悠（梁瀬　３年）
黒田　陽向（竹田　４年）
勢溜　夢依（枚田　５年）
田路　未歩（梁瀬　５年）
藤本希羅々（梁瀬　５年）
加芝　美和（八鹿　６年）
佐竹　海音（生野　６年）

◆入賞……18名
藤原　充博（養父　１年）
西垣　聡恵（枚田　２年）
古屋　知花（中川　２年）
田中　創（梁瀬　３年）
田水　愛惟（関宮　４年）
西垣　賢輝（枚田　４年）
佐藤　優芽（竹田　４年）
瀬尾　柚月（梁瀬　４年）
石坪　結子（広谷　５年）
上垣穂乃実（大屋　５年）
宮武　蓮斗（生野　５年）
垣尾　実子（東河　５年）
吉井　優多（広谷　６年）
佐藤　敦生（生野　６年）
髙橋　佑季（枚田　６年）
石田　愛莉（枚田　６年）
中屋　心菜（山口　６年）
松原　理央（山口　６年）

中学校の部

◆優秀賞……５名
渡邉　海斗（和田山１年）
永田　来幸（生野　２年）
山野　愛（生野　２年）
前畑　南海（梁瀬　３年）
椿野　彩葉（朝来　３年）

◆入賞……12名
小島　実紅（養父　１年）
太田　海梨（和田山１年）
北垣　幸誠（和田山１年）
三浦　紅葉（和田山１年）
藤原　光（梁瀬　２年）
岩野　由季（朝来　２年）
中屋　結花（朝来　２年）
松島　匠希（朝来　２年）
角野緑久心（関宮　３年）
進元　颯（八鹿青渓３年）
足立　怜哉（生野　３年）
柴田　明（生野　３年）

審査員所感

今年の防火ポスター応募作品総数は小中学校合わせて８４２点でした。昨年より大幅に応募数が減少しましたが、力作ばかりで厳格な審査を行いました。

小原さんの作品は、日常の火災元となる現象を分かりやすくデザイン化されています。また、標語に合う消防官のポーズや構図にも工夫が見られました。

藤本さんの作品は、蝋燭の火を一つずつ消していく様で標語に合わせています。背景の色を暗くし、蝋燭の小さな火であっても危険であるという表現を感じました。

全体的に、シンプルでありながら大胆な構図で、インパクトのある素晴らしい作品が多かったです。しかし、せっかく良い構成で描かれていても、色の塗り方一つで印象が変わってしまいます。練習を重ねて更に素晴らしい作品作りに励んでください。

養父市立関宮中学校
池田　和隆

TOPICS

おもなできごと

消防写真館

避難訓練（7月12日 放課後等デイサービスクローバー）

避難訓練後、消火器の取扱い訓練が行われました。①安全栓を抜く②ホースを外す③レバーを握るの順番で素早く消火されました。

消防訓練（7月10日　あさごふれあいの郷）

防火DVDを視聴し、火災の怖さを学ばれた後、消火器の取扱い訓練が行われました。皆さん、思い切ってレバーを握り消火されました。

消防訓練（7月28日　広谷区）

火災時、被害を少しでも抑えるように消火栓を使用した放水訓練が行われました。皆さん、積極的に操作方法を学ばれていました。

通報訓練（7月25日　たんぽぽワークス）

事務所内の加入電話を使用し、119番通報をする訓練が行われました。落ち着いて消防車の要請をされていました。

避難訓練（7月22日 養父市学校給食センター）

火災を想定した避難訓練が行われました。実際に押しボタンを押し、自動火災報知設備を作動させる等、熱心に取り組まれていました。

消防白書

令和元年
1月～9月

火災

※養父署で増加

火災件数は両署合わせて21件で、前年同期と比較して4件減少しています。養父署では12件と大幅に増加しています。火の取扱いには十分注意しましょう。

種別＼署別	総　数	朝来署	養父署
総　数	21 (25)	9 (20)	12 (5)
建　物	6	1	5
林　野	2	0	2
車　両	1	1	0
その他	12	7	5

（　）内は前年件数

救急

※出動件数・搬送人員ともに減少

救急件数は2，293件、搬送人員は2，095人でした。前年同期と比較すると件数は34件、搬送人員は11人減少しています。

種別＼署別	総　数	朝来署	養父署	管　外
総　数	2,293 (2,327)	1,108 (1,181)	1,185 (1,146)	0 (0)
急　病	1,394	674	720	0
交通事故	163	100	63	0
一般負傷	375	172	203	0
その他	361	162	199	0

（　）内は前年件数

救助

※救助件数は減少

救助件数は41件、救助人員は24人でした。前年同期と比較して件数は5件減少し、救助人員は同数でした。

種別＼署別	総　数	朝来署	養父署	管　外
総　数	41 (46)	22 (21)	19 (25)	0 (0)
交通事故	23	16	7	0
機　械	0	0	0	0
水　難	2	0	2	0
その他	16	6	10	0

（　）内は前年件数

消防訓練（8月26日　ママの働き方応援隊）

家庭内で火災が起きた際、素早く初期消火できるように消火器の操作方法を学ばれました。親子で一緒に消火器のレバーを握り、消火されました。

避難訓練（8月5日　照福こども園）

火災を想定した避難訓練が行われました。火災発生の放送後、先生の指示により、速やかに安全な場所へ避難されました。

職業体験（8月4日　あさごキッズタウン）

朝来市内の小学生を対象に職業体験イベントが行われました。勢いよくホースを伸ばし、放水の構えをとり、気分は未来の消防士でした。

社会見学（9月26日 山東子育て学習センター）

多くの子供連れの方が消防署に来られ、消防車両の乗車体験をされました。憧れの消防車の窓から大きく手を振っている子供達の笑顔が印象的でした。

救急教室（9月17日　和田山税務署）

もしもの時に適切な応急処置が行えるように救急教室が行われました。心肺蘇生法やＡＥＤの操作方法など、真剣に取り組まれていました。

普通救命講習（9月14日　一般公募）

乳幼児対象の普通救命講習が行われました。講習中たくさんの質問が飛び交うなど、熱心に取り組まれていました。

火災調査レポート

誤給油に注意してください！

日に日に寒さが増す時季となり、暖房器具を使用する機会が増えてきます。

しかし、それらの暖房器具によって大惨事を招く事例が、近年多数発生しています。その原因の一つが、灯油とガソリンを間違えて給油する『誤給油』です。

誤給油の原因の多くは、ガソリンをポリタンクに保管し、灯油と間違えて給油したものです。

そこで、誤給油を防ぐため灯油とガソリンの性質・保管方法を紹介します。

ガソリンはオレンジ色で、マイナス40℃で引火します。さらに、揮発性が非常に高く、常温でも蒸発するため、小さな火でも引火します。

灯油は無色透明で、揮発性はガソリンと比較すると低く、40℃～60℃で引火します。

この様な性質から、それぞれ保管容器が違い、灯油は「専用ポリタンク」、ガソリンは、金属製の「専用携行缶」と法令で定められています。

再度、ご家庭で、正しい保管・給油方法を確認してください。

また、これからの季節は火を使う機会が多くなってきます。火の取り扱いには十分注意し、暖かい楽しい冬を過ごしましょう。

ガソリンと灯油の違い

	色	引火点	揮発性	保管容器
ガソリン	オレンジ	マイナス40℃	非常に高い	金属製専用携行缶
灯油	無色透明	40℃～60℃	高い	専用ポリタンク

お知らせ

◆新入職員紹介

平成31年4月に新しく3名の職員を採用しました。

3名とも、三木市の兵庫県消防学校で半年間の研修を修了し、帰任しました。

（右から）
森本琉太（19歳）
藤本大輝（22歳）
野沢　徹（28歳）

消防学校で学んだ知識・技術に加え、学校生活で培った協調性を活かし市民の皆様の生命・財産を守れるよう互いに切磋琢磨して頑張っていきます。

野沢　徹

◆人命救助に対する感謝状贈呈

7月下旬、養父市内の市道で「男性が水路内に転落する」という救急事案が発生。

藤原春枝さん（写真右）は、自家用車で帰宅中に水路内で動けなくなっている80代男性を発見。男性の顔は水に浸かっており、藤原さんは呼吸ができるよう水中から男性の顔を上げるとともに、大声で助けを求めました。声を聞いて駆け付けた中島由紀夫さん（写真左）と中山俊秋さん（写真中）の3人で協力し、流されそうになっていた男性を水路から引き揚げ、さらに藤原さんは119番通報を行い、適切な通報内容により通信員はドクターヘリ要請を判断、救急隊よりも先に医師が現場に到着し、早期医療介入につながりました。

男性の生命に迫った危機に臆することなく、適切な判断と通報を行った3名に対し、消防署長感謝状を贈呈しました。

◆危険物取扱者試験

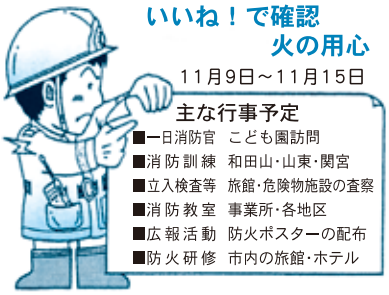
●試験日
令和元年12月8・15日

●受付期間
（書面申請）
令和元年11月1日(金)～11月11日(月)

●種別
甲・乙・丙

願書配布は、南但消防本部朝来消防署、養父消防署、生野出張所、大屋出張所で行っています。

◆秋の火災予防運動



ゴローくん

NANTAN 119だより

編集手帳

▼ランデブーポイントとは、ドクターヘリが着陸するための指定された場所です。

▼秋の夕暮れ間近、家でテレビを見ていると、遠くの方からヘリのエンジン音が響くのが聞こえました。

▼家の外に出て空を見上げると夕焼け雲のすき間からドクターヘリが現れ、家の上空を通過していきました。

▼何時も私たちのために飛んでくれているドクターヘリに感謝です。

▼そうこうしている間に、消防車や救急車のサイレン音が聞こえ、ランデブーポイントで高度な医療を必要とする重篤な患者さんを救急隊からドクターヘリへ引継ぎ、あっという間に飛んでいきました。

▼ランデブーポイントは、私たちにとって大切な場所となっています。㊥

NANTAN 119だより
第20号
2019年11月1日発行（年3回発行）
■ 発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1
■ TEL 079-672-0119
■ FAX 079-672-5046
南但消防本部

VEGETABLE OIL INK 植物性インキを使用しています。